

官民一体で海外戦略加速

インフラ



丸紅がフィリピンで運営するスアル石炭火力発電所



20年に輸出3倍30兆円目標

大手商社も新興国のインフラ整備・運営に向けた取り組みを加速している。優れた技術やノウハウを持つ日系メーカーとコンソーシアムを組むなどして、電力や水、交通

と多岐にわたる分野に参画。当該国の国造り支援に携わることで、自主化による経済発展が期待される。また、さまざまな分野でインフラ整備案件が見込まれる同国は、日本企業にとって「インフラ分野で受注チャンスが多くある」(小林健三、三菱商事社長)有望市場だ。

大手商社 新興国の「国造り」支援 大型案件に総合力発揮

ヤンゴンに因り、ヤンゴンの南東約20キロに位置する「ティラワ経済特別区」。総面積約2400ヘクタールを誇る同経済

と官民連携により、世界の新興国に誇れる経済特区を完成させる」と自信を示す。商機は空港や水分野にも広がっている。三菱商事はJALUなど、マンダレー国際空港の整備・運営事業の優先交渉権を13年に獲得。国内の産業活動や観光業の拡大

丸紅が東芝と共同で、タイのバンコク市で16年に開通予定の路線向けに鉄道システムとメンテナンス事業を受注した。車両はJR東日本の子会社が製造し、バンコクで日本製車両が採用される初の案件となる。また、双日もインフラ開発が活発化し

丸紅が東芝と共同で、タイのバンコク市で16年に開通予定の路線向けに鉄道システムとメンテナンス事業を受注した。車両はJR東日本の子会社が製造し、バンコクで日本製車両が採用される初の案件となる。また、双日もインフラ開発が活発化し

ヤンゴンに因り

と官民連携により、世界の新興国に誇れる経済特区を完成させる」と自信を示す。商機は空港や水分野にも広がっている。三菱商事はJALUなど、マンダレー国際空港の整備・運営事業の優先交渉権を13年に獲得。国内の産業活動や観光業の拡大

丸紅が東芝と共同で、タイのバンコク市で16年に開通予定の路線向けに鉄道システムとメンテナンス事業を受注した。車両はJR東日本の子会社が製造し、バンコクで日本製車両が採用される初の案件となる。また、双日もインフラ開発が活発化し

丸紅が東芝と共同で、タイのバンコク市で16年に開通予定の路線向けに鉄道システムとメンテナンス事業を受注した。車両はJR東日本の子会社が製造し、バンコクで日本製車両が採用される初の案件となる。また、双日もインフラ開発が活発化し

丸紅が東芝と共同で、タイのバンコク市で16年に開通予定の路線向けに鉄道システムとメンテナンス事業を受注した。車両はJR東日本の子会社が製造し、バンコクで日本製車両が採用される初の案件となる。また、双日もインフラ開発が活発化し



三菱電機の標準衛星プラットフォーム「DS2000」のイメージ図

三菱電機 トルコで衛星受注

トルコは14年1月に現地の原子力発電会社を買収する予定。両者の特徴は計画の初期段階から事業に参画することで、機器の受注を引き出すこと

トルコは14年1月に現地の原子力発電会社を買収する予定。両者の特徴は計画の初期段階から事業に参画することで、機器の受注を引き出すこと

トルコは14年1月に現地の原子力発電会社を買収する予定。両者の特徴は計画の初期段階から事業に参画することで、機器の受注を引き出すこと

政府がインフラ輸出の戦略を発表したのが2013年の5月。官民あげたトップセールスや相手国への経済支援をセットに、10年に10兆円

と東芝は14年1月に現地の原子力発電会社を買収する予定。両者の特徴は計画の初期段階から事業に参画することで、機器の受注を引き出すこと

と東芝は14年1月に現地の原子力発電会社を買収する予定。両者の特徴は計画の初期段階から事業に参画することで、機器の受注を引き出すこと

と東芝は14年1月に現地の原子力発電会社を買収する予定。両者の特徴は計画の初期段階から事業に参画することで、機器の受注を引き出すこと

と東芝は14年1月に現地の原子力発電会社を買収する予定。両者の特徴は計画の初期段階から事業に参画することで、機器の受注を引き出すこと

東芝 日立 英発電会社を買収

東京都市 東南アで水ビジネス

司令塔を英国に移すことも検討している。インフラ輸出は「輸出」ではあるが、生産や海外の衛星事業では欧米勢に食い込む

最適環境をクリエイトする 先進のモノづくり

Energy Saving

省エネ性能に優れた環境に優しいシステム

High Performance

業界最高レベルの処理能力で作業スピード・効率アップ

Safety

優れた耐震性とメンテナンスシステムにより安全・安心を確保

「スピード」「省エネ」「安全・安心」

オカムラは独創的な発想と高い技術力で、時代が求める課題に応え、お客様に最適な環境づくりをお手伝いいたします。

コンサルティングから 製造、販売まで、一貫したサービス体制でサポートいたします。

お問い合わせ・ご相談は【お客様サービスセンター】へ 受付時間 9:00~17:20(土・日・祝日を除く)

0120-81-9060 http://www.okamura.co.jp/

よい品は結局おトクです

株式会社 岡村製作所